

主催：太陽エネルギーデザイン研究会
 後援：一般社団法人 日本エネルギー学会
総会（第15期）・講演会・懇親会

日時：2026年6月26日(金) 15:30-18:20 懇親会：18:30～

会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス
 1号館3階133教室 / 1号館2階カフェテリア

会費：講演会：会員無料、会員外 1,000円
 懇親会：会員・会員外共 4,500円

参加申し込み；6月22日（月）までに下記URLよりご登録ください。
<https://forms.gle/xhzRsqVLzNKXrRtbA>

総会

15:00～ 受付
 15:30～16:00 総会

講演会

司会：笠原 唯男 (SDC理事、ヴィラソーラー)

16:00～16:05 開会の挨拶 宮崎 淳 (SDC会長、日本設計)

16:05～16:50 『2050カーボンニュートラル実現に向けて
 ～自治体、企業、市民の役割は？～』
松本 真由美 氏 (前東京大学 教養学部環境エネルギー科学特別部門客員准教授、
 NPO法人国際環境経済研究所 (IEEI) 理事・主席研究員)

-----休憩 (10分)-----

17:00～17:45 『太陽光発電の設計・施工ガイドラインの概要と今後のBIPVへの期待』
大関 崇 氏 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所再生可能エネルギー研究センター
 副研究センター長)

17:45～18:15 『BIPVの現状と今後のゆくえ』
石井 久史 氏 (SDC副会長、株式会社 LIXIL LHT 商品本部 技術研究所 フェロー)

18:15～18:20 閉会の挨拶 大野 二郎 (SDC名誉会長、大野二郎環境建築研究所)

懇親会

18:30～20:00頃 懇親会
 会場；日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館2階 カフェテリア

講演概要・講演者プロフィール

会員向け、会員外向け広報用
(共通)

講演① 『2050カーボンニュートラル実現に向けて～自治体、企業、市民の役割は？～』

概要；地球温暖化が進む中、世界の多くの国は地球温暖化対策を検討し、行動を起こしている。日本は2020年10月26日、当時の菅首相が国会の所信表明演説で、「2050年までにカーボンニュートラルを実現する」と政府として初めて公的に宣言した。2021年には「2030年46%削減目標」などを追加表明している。カーボンニュートラルを実現するためには、国によるどんな方策が必要なのか。また自治体、企業、市民の役割を考える。

松本 真由美 氏 (前東京大学 教養学部環境工エネルギー科学特別部門 客員准教授
NPO法人国際環境経済研究所 (IEEI) 理事・主席研究員)

略歴

上智大学外国語学部卒業。専門は科学コミュニケーション・環境・エネルギー政策論。研究テーマは、「エネルギーと地域社会との共存」、「環境・エネルギー政策の国際比較」「企業の環境経営動向(脱炭素経営、SDGs等)」等、環境とエネルギーの視点から持続可能な社会のあり方を追求する。

大学在学中から、TV朝日報道番組のキャスター、リポーター、ディレクターとして取材活動を行い、その後、NHK BS1でワールドニュースキャスターとして「ワールドレポート」等の番組を6年間担当した。2004年以降、環境NPO活動に携わる。2008年5月より研究員として東京大学での環境・エネルギー分野の人材育成プロジェクトに携わり、2013年4月より東京大学教養学部客員准教授。上長の教授の退官により、2026年3月同大学の教員を辞める。2011年4月よりNPO法人国際環境経済研究所理事・主席研究員。



松本 真由美
(まつもと まゆみ)

講演② 『太陽光発電の設計・施工ガイドラインの概要と今後のBIPVへの期待』

概要；これまでに、太陽光発電の安全性向上のため、「建物設置型太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン2025年版」「フレキシブル太陽電池を利用した太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン」等を公開してきた。本講演ではこれらの概要説明と、太陽光発電の今後の方向性におけるBIPVへの期待について述べる。

大関 崇 氏 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター 副研究センター長)

経歴

- ・東京農工大学博士後期課程 修了 博士(工学)
- ・2005年 産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター 入所 (途中、太陽光発電研究センターと組織名変更)
- ・システムチーム 研究員、主任研究員、研究チーム長
- ・2020年 福島再生可能エネルギー研究所 再生可能エネルギー研究センター 太陽光システム研究チーム長、総括研究主幹を経て、副研究センター長(現職)
- ・2015年4月～2017年3月 経済産業省 資源エネルギー庁 新エネルギー課 課長補佐(出向)
- ・太陽光発電システムに関する研究に従事、各種ガイドラインの策定に取り組む。

主な業績、委員等

- ・経済産業省 電力安全小委員会 委員
- ・経済産業省 電気保安制度ワーキンググループ 委員
- ・経済産業省 再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会 委員
- ・JEMA太陽光発電システム標準化総合委員会 副委員長 他
- ・壁面設置太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン 委員
- ・他、多数
- ・建物設置太陽光発電システムの設計・施工ガイドラインの策定・公開
- ・フレキシブル太陽電池を利用した太陽光発電システムの設計・施工ガイドラインの策定・公開



大関 崇
(おおぜき たかし)

講演③ 『BIPVの現状と今後のゆくえ』

概要；エネルギーの70%が都市部で消費され、都市部での創エネの在り方が問われている。都市部の創エネにはBIPVが有効であり、消費地と発電地との一致はエネルギー効率も良く、理にかなっている。しかしながら、BIPVを街中で見かけることは非常に少ない。御多分に漏れずBIPVはニッチであり、現時点で事業的な成功が難しいとされる。そこで、本講演では、既に導入されている国内外の事例等をご紹介しますとともに、BIPV導入に向けた課題や普遍的な価値を共有し、皆様の新たな気付きに繋がれば幸いです。

石井 久史 氏 (株式会社 LIXIL LHT 商品本部 技術研究所 フェロー、SDC副会長)

経歴等

- ・千葉大学大学院 自然科学研究科 博士後期課程修了 博士(工学)、一級建築士
- ・ファサードエンジニアとして、国内外のプロジェクト経験を有し、各種構工法開発に携わる。
- ・戸建て住宅向け太陽電池事業をローンチ。総合研究所にて、環境エネルギー分野の研究に従事。総合研究所 ゼロエネ建築グループ リーダー、先端技術研究所 主任研究員を経て、現職。
- ・日本建築学会、国交省建築工事管理指針、METI事業、NEDO事業委員など委員歴多数。
- ・IEA PVPS Task15 Expert、Activity Leader、IEC TS 63092-3 Project Leader
- ・当会副会長、日本太陽エネルギー学会 理事、再生可能エネルギー協議会 理事
- ・非常勤講師：東京都市大学、お茶の水女子大学

業績(プロジェクト&研究開発、他)

- ・香港国際空港ターミナル棟、国立新美術館、汐留住友、東大21KOMCEE、産総研BIO-IT、他
- ・DPG構法、ガラス点支持構法、ケーブルテンション構造を開発し、多くのプロジェクトに実装
- ・アルミニウム合金建築構造として、アルミハウスプロジェクトなどの開発と実装
- ・ソーラールーフ、多機能ダブルスキン、簡易ダブルスキルーバー、ゼロエネトイレ、定風量換気装置、ダイレクトボンディング型4辺SSG構法、PVロールスクリーンシステム等
- ・壁面設置太陽光発電システム設計施工ガイドライン、BIPVってなに？他、多数

受賞歴

- ・EU PVSEC 2017 Poster Award、グッドデザイン賞2021、2024、新エネ大賞 財団会長賞
- ・気候変動アクション環境大臣表彰大賞、日本エネルギー学会進歩賞などを受賞



石井 久史
(いしい ひさし)

主催；太陽エネルギーデザイン研究会
 後援：一般社団法人日本エネルギー学会
総会（第15期）・講演会・懇親会 会場案内

日時：2026年6月26日(金)

総会：15:30～16:00 (受付15:00～)

講演会：16:00～18:20

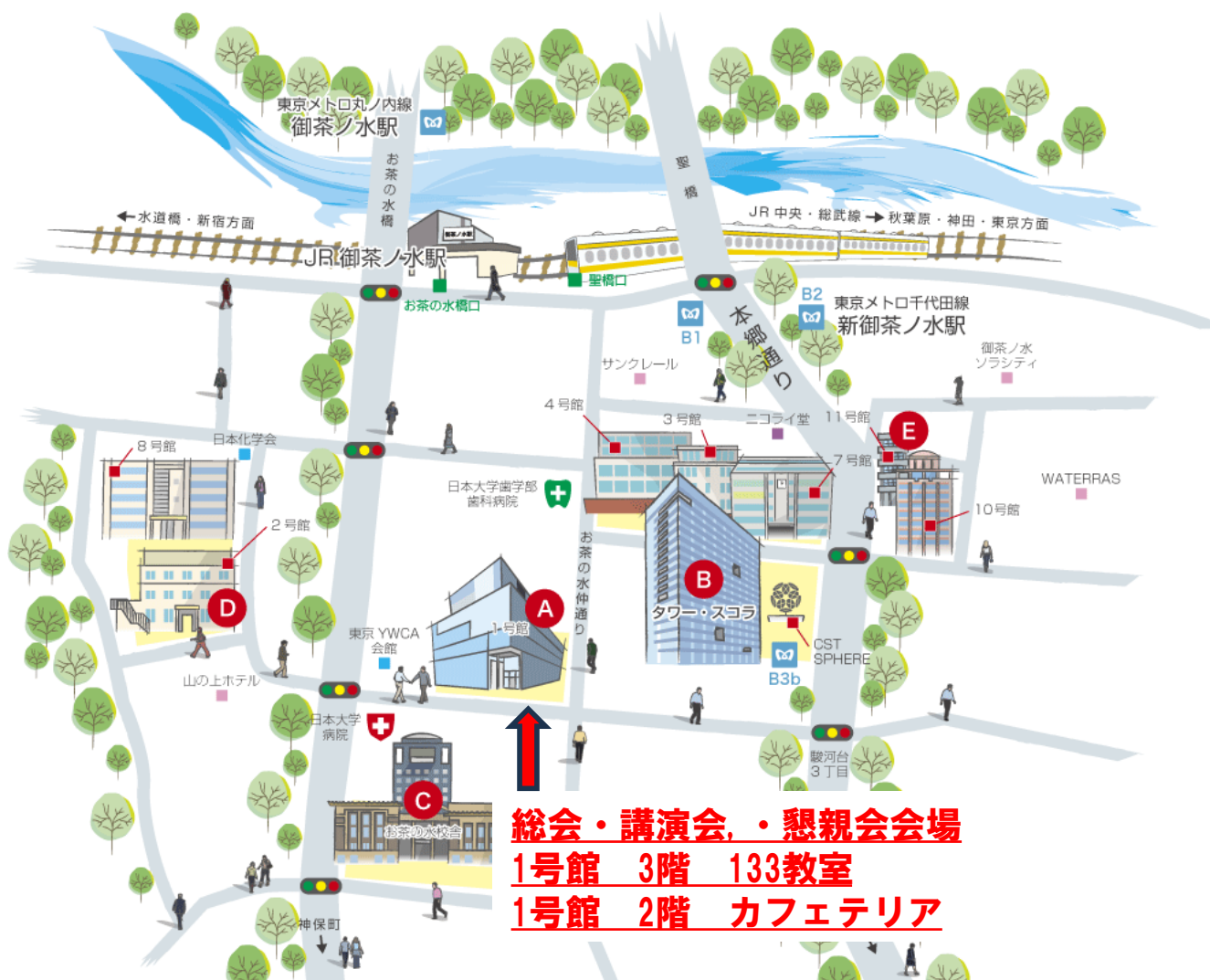
会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館 3階 133教室
 千代田区神田駿河町1-8-14

(JR御茶ノ水駅,千代田線新御茶ノ水駅、徒歩2～3分)

東京メトロ丸の内線淡路町駅、都営地下鉄新宿線小川町駅、徒歩約3～4分)

懇親会：18:30～20:00頃

会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館 2階 カフェテリア



総会・講演会・懇親会会場
1号館 3階 133教室
1号館 2階 カフェテリア

- A … 入試事務室 カフェテリア CST ホール
- B … 情報教育研究センター 購買部 カフェ
- C … 図書館
- D … 材料創造研究センター
- E … 研究支援センター

主催；太陽エネルギーデザイン研究会

URL：http://www.solar-design.jp/

E-mail：info@solar-design.jp



後援；一般社団法人 日本エネルギー学会

The Japan Institute of Energy

